

回復期リハビリ病棟とは

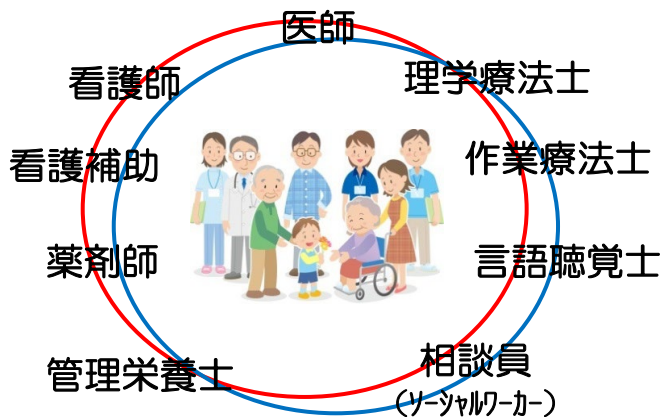
主に脳卒中や体幹・下肢の骨折など法律で定められた疾患の患者さんが、急性期を脱してもまだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な場合に治療を行う病棟です。

当院の3つのポイント

- 病気の状態に合わせたリハビリ
- ご自宅の環境に合わせたリハビリ
- 退院後も継続したリハビリを支援

24時間365日サポート

入院直後から医師・看護師・リハビリスタッフ・社会福祉士・栄養士・薬剤師など専門職種がチームを組んで24時間365日サポートしながら集中的なリハビリテーションを行うことで、心身ともに回復した状態で在宅や社会へ戻っていただきます。



回復期リハビリテーションの対象

疾患	算定上限日数
脳卒中	算定開始日から150日以内 (重症時180日以内)
骨折	算定開始日から90日以内
手術	算定開始日から90日以内
神経、筋又は靭帯損傷	算定開始日から60日以内
関節の置換術	算定開始日から90日以内

※詳しくは厚生労働省「回復期入院基準」参照

アクセス



社会福祉法人 京都社会事業財団 京都からすま病院

〒603-8142 京都府京都市北区小山上総町14番地

T E L : 075-491-8559(代)

F A X : 075-492-4304(代)

受付時間 : 8:30~11:30/12:50~15:30

休診日 : 土曜午後・日祝・年末年始

交通・アクセス : 京都市バス「北大路ターミナル」下車徒歩3分

京都市営地下鉄「北大路」下車 徒歩1分



回復期 リハビリテーション病棟 のご案内

京都からすま病院
KYOTO KARASUMA HOSPITAL



柔軟で質のいいリハビリ

理学療法士

歩く



医師の診断・指示のもと、病気やケガにより生じた障害や運動能力の低下を改善し、起き上がる、立ち上がる、歩くといった基本動作の回復をめざして物理的なりハビリテーションを行います。自宅復帰、職場復帰を見据えたリハビリテーションのサポートこそ、回復期における理学療法士のミッションです。

作業療法士

生活



身体的、精神的に障害のある人が自分で生活ができるようになるために、作業活動を通じて、体の諸機能の回復・維持を図ります。道具を使った手先の訓練と、着替えや入浴、料理といった日常生活の訓練のほか、パソコン操作など職場復帰に必要な訓練、趣味活動と合わせてのリハビリも行います。

言語聴覚士

話す



脳の損傷によって起こる話すことや聴くこと、読み書きができなくなる「失語症」、記憶力や注意力等が低下する「高次脳機能障害」、唇や舌の麻痺により滑らかに話せなくなる「構音障害」、飲食物をうまく飲み込めない「嚥下障害」の患者さんに対して、さまざまな場面を想定してリハビリを行います。

入院生活（例）

